

宇宙通信アドバイザーボード（第9回）議事要旨

日時：令和8年2月17日（火）13:00～14:10

場所：オンライン

出席者：梅比良座長、甘木構成員、石田構成員、加保構成員、小塚構成員、小紫構成員

議題

宇宙戦略基金（令和7年度補正・総務省分）における技術開発テーマ（案）について

議事要旨

梅比良座長により、議題に沿って議事を進行。

議題について、事務局より説明が行われた。その後、議題について各構成員より議論が行われた。議論の概要は次のとおり。

- グローバルな商用展開を目指すことは良いが、研究開発に必要なものの国内生産が難しく、むしろ輸入しなければいけない事態が起きつつある。国内の技術を守るためには、提案者には売上の数値目標の設定を求めるのも一案。
- 全体的には事業化戦略を目指すということであるが、数値目標等としてどこまで書き込むかは提案者側の考え方による。
- 「（2）月・地球間通信インフラの実現に必要な地球局の開発・実証」の「7. 技術開発マネジメント」の随意契約に関する記載については、JAXA も了承の上のものと理解した。ぜひ期待している。
- 「（1）衛星通信利活用を拡大するための汎用地上アンテナ及びユースケースの開発・実証」や「（5）次世代衛星通信を実現する革新的衛星搭載アンテナの開発・実証」等の難易度の高いテーマについて、審査会の構成員からステージゲート評価までの間に中間評価を設けるべきという意見が出た際は、総務省としても柔軟に対応してほしい。

以上